

令和 8 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 8 年 7 月 1 日作成

事務事業名		志布志麓庭園運営事業（歴史のまちづくり事業）		事業番号	456		担当課	生涯学習課		(3)指標の推移		5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度				
							担当G	文化財管理G		活動指標（実施状況）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)				
								文化財管理G					(実績)	(実績)	(実績)						
まちづくりプラン（基本目標）		振興計画体系	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち		予算科目		会計	款	項	目	備考		ア	福山氏庭園の企画展等開催数	回	1	2	3	3	3
														イ			1	3			
(個別目標)		振興計画体系	3	文化を守り・育み・つなげるまち		主な費目		報酬、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料													
(施策)		振興計画体系	2	伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用		対象		国指定名勝 志布志麓庭園（福山氏庭園・平山氏庭園・天水氏庭園）		成果指標（成果・効果）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)			
													(実績)	(実績)	(実績)						
(基本目標)		総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる						ア		福山氏庭園の来園者数	人		1,500	2,000	2,000	2,000	2,000		
															1,710	2,642					
(施策)		総合戦略	5	観光パワーアッププロジェクト		事業期間		令和6年度～年度（ 年間）		イ		体験メニュー利用者	人		200	200	200	200	200		
															61	118					
(1) 総事業費の推移		単位		5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	(4) 評価		所管課による評価									
				(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)												
年間 事業費 内訳 コスト	財源	国県支出金	千円							有効性 評価	・ 市民のニーズ ・ 事業の効果 ・ 政策との整合性 ・ 事業を廃止の影響 ・ 類似事業との連携 ・ 公平性	麓地区の拠点施設として、回遊的観光の中核施設となりうる。									
	内訳	その他特定財源	千円			38	32	32	32												
		一般財源	千円			2,068	1,768	1,768	1,768												
	事業費計 (A)	千円	0	0	2,106	1,800	1,800	1,800													
	所要人員 (年間)	人			0.250	0.250	0.250	0.250													
	人件費概算 (B)	千円	0	0	1,400	1,400	1,400	1,400													
(A) + (B)		千円	0	0	3,506	3,200	3,200	3,200													
(2) 事業概要																					
事業目的	国指定名勝志布志麓の福山氏庭園を文化財施設として運営し、保存活用を図る。 麓地区の拠点施設として、日本遺産である志布志麓や続日本100名城である志布志市城の周遊的な活用の中核的役割を担う。									効率性 評価	・ 事業効果向上 ・ 事業費削減 ・ 事務の効率化 ・ 費用対効果 ・ 財政負担の必要性 ・ 関係者との連携	入園料を無料として来園者の誘致を図りながら体験メニューや貸館による収入を得ることで運営費の負担を軽減する。									
事業内容	福山氏庭園の庭園及び主屋ほか建物等の適切な管理を行い、一般公開を行うとともに企画展等を開催し、周知と活用を図る。体験メニューを提供し、貸館対応も行う。																				
開始経緯	福山氏庭園の主屋及び主庭園の一般公開活用を令和6年7月に開始し、文化財施設としての管理運営を開始した。																				
実施状況	麓地区の拠点施設として、日本遺産である志布志麓や続日本100名城である志布志城の見学者が来園している。 企画展としてお釈迦まつり当日の開催や市埋蔵文化財センターと連携した展示を行っている。 体験メニューとして四半的体験を提供し、貸館対応も行っている。																				
成果	市内外からの来園者が訪れており、団体の見学や研修視察も受け入れている。四半的体験に加え、貸館対応も実施している。									改革 改善案	現状維持										
課題	・ 四半的以外の体験メニューの拡充 ・ 来園者が利用できる公共Wi-Fi等の設置																				

令和 8 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 8 年 7 月 1 日作成

事務事業名		志布志麓庭園整備事業（歴史のまちづくり事業）（国庫補助）			事業番号	担当課	生涯学習課					(3)指標の推移		5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度					
							担当G	文化財管理G					活動指標（実施状況）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)			
					889		会計	款	項	目	備考			(実績)	(実績)	(実績)								
まちづくりプラン（基本目標）		振興計画体系	5	＜教育・文化＞心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち			予算科目	1	10	4	6		ア	志布志麓庭園整備検討委員会の開催数	回	1	1	1	1	2	2			
（個別目標）			3	文化を守り・育み・つなげるまち				主な費目						イ										
（施策）		総合戦略	2	伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用			対象	国指定名勝 志布志麓庭園（福山氏庭園・平山氏庭園・天水氏庭園）					成果指標（成果・効果）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)			
（基本目標）			4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる				事業期間	平成21年度～年度（ 年間）					ア	適正な状態に整備された庭園数	箇所	1	2	2	2	2	3		
（施策）		5	観光パワーアッププロジェクト									イ												
(1) 総事業費の推移		単位	5年度		6年度		7年度		8年度		9年度		10年度		(4)評価		所管課による評価							
			(実績・決算)		(実績・決算)		(実績・決算)		(計画・予算)		(計画・予算)		(計画・予算)											
年間トータルコスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	24,626		11,048		13,572		18,708		15,000		有効性評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	志布志麓庭園管理基本計画を策定したことにより、国の補助事業の導入で保存修理等ができる。							
			その他特定財源	千円																				
			一般財源	千円	72,014		13,631		13,677		19,417		15,000											
		事業費計（A）	千円	96,640		24,679		27,249		38,125		30,000												
	人件費		所要人員（年間）	人	0.250		0.250		0.250		0.250		0.250											
			人件費概算（B）	千円	1,400		1,400		1,400		1,400		1,401											
		（A）＋（B）	千円	98,040		26,079		28,649		39,525		31,401												
(2)事業概要																								
事業目的	国指定名勝志布志麓庭園(福山氏庭園・天水氏庭園・平山氏庭園)の保存整備を行い、活用を図る。																							
事業内容	国補助を導入し福山氏庭園の保存整備を行う。 主屋及び庭園は公開活用を開始しており、継続して隠居所、土蔵、板倉、味噌蔵、風呂の各建物の整備を行う。																							
必要性	福山氏庭園の主屋及び主庭園については一般公開を開始したが、その他の建造物については来園者や観光ガイドからの整備要望があり、文化庁からも庭園敷地内の建造物については、保存状態等を考慮し一体的な保存整備を求められている。																							
実施状況	文化庁の指導を仰ぐとともに志布志麓庭園整備検討委員会を開催しながら、福山氏庭園主屋等保存修理等工事を実施している。福山氏庭園主屋は令和6年7月16日に開園式典を行い一般公開を開始した。隠居所、土蔵、板蔵、味噌蔵、風呂の5建物について、建物調査を実施し、検討委員会を経て整備方針を決定する。																							
成果	福山氏庭園主屋及び主庭園の保存修理を実施し、敷地内に新築便所を設置した。主庭園を旧来の姿に復旧するための修復剪定を実施し、アカマツ等の補植を行った。主屋等防災工事として、主屋の土壁補強による耐震対策工事等を行い、敷地内に私設消火栓(2基)を設置した。令和6年度から主屋の公開活用を開始し、6年度及び7年度には建物調査と石垣の積み直しを実施した。																							
課題	国指定文化財の文化財保存修理の方法は、国の基準を満たす工法が必要であり、事業費は高額となる。国庫補助を活用しながら、年次的な保存修理等工事を、文化庁の指導を仰ぎながら実施する必要がある。																							
															改革改善案									
																拡充	○	現状維持		改善		効率化		廃止終了

作成日 令和 8 年 7 月 1 日作成

改革改善案

作成日 令和 8 年 7 月 1 日作成

事務事業名		志布志麓庭園公有化事業（国庫補助）			事業番号	担当課	生涯学習課				(3)指標の推移		5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度									
					1186	担当G	文化財管理G				活動指標（実施状況）		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)									
まちづくりプラン （基本目標）		振興計画体系	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと 伝統・文化のまち			予算科目	1	10	4	6	備考	ア	志布志麓庭園を構成する 庭園のうち公有化の数	件	3 2	3 2	3 2	3 2	3 2							
（個別目標）							主な費目	旅費、役務費、委託料、公有 財産購入費				イ	公開活用されている庭園数 (志布志麓庭園3・国登録2)	件	5 5	5 4	5 4										
（施策）		総合戦略	2	伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用			対象	国指定名勝 志布志麓庭園 （平山氏庭園・平山氏庭園・ 福山氏庭園）				成果指標（成果・効果）		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)								
（基本目標）												活用による庭園の見学者数 (一般観光客を除く)	人	500 352	1,000 472	1,000 700	1,000	1,000									
（施策）		5	観光パワーアッププロジェクト			事業期間	平成24 年度～ 年度（ 年間）				イ	福山氏庭園の来園者数 (R6.7.12 開園)	人	- -	900 1,710	1,400 2,642	2,000	2,000									
(1) 総事業費の推移		単位	5年度 (実績・決算)		6年度 (実績・決算)		7年度 (実績・決算)		8年度 (計画・予算)		9年度 (計画・予算)		10年度 (計画・予算)		(4)評価		所管課による評価										
年間 トータル コスト	事業費 内訳	財源	国県支出金	千円					12,800						有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	公共の財産である歴史遺産を公有化することにより、整備 活用を行うことで、市民の文化財保護意識が高まり貴重な 歴史遺産の保護につながる。 志布志麓庭園は日本遺産の構成要素でもあり、志布志東部 地区の観光まちづくりにおいて大きな役割を担うべき歴史 遺産である。										
			その他特定財源	千円																							
			一般財源	千円					3,247																		
	人件費 コスト		事業費計（A）	千円	0	0	0	16,047	0	0																	
			所要人員（年間）	人	0.000	0.000	0.000	0.100																			
			人件費概算（B）	千円	0	0	0	560	0	0																	
			(A) + (B)	千円	0	0	0	16,607	0	0																	
(2) 事業概要																											
事業目的	国指定名勝「志布志麓庭園」を構成する3庭園(福山氏庭園、平山氏庭園、天水氏庭園)について、保存管理 計画に基づく整備の一環として、公有化を図る。																	効率性 評価	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携	国指定名勝を構成する庭園を公有化することで、単なる維持 管理ではなく、直接的な整備活用を実施することが可能 となる。							
事業内容	土地所有者等の確認を行い、購入に向けて協議を行う。国指定文化財の公有化に係る補助事業を導入する。 各庭園の不動産鑑定及び庭園の鑑定を実施し、購入額を算定する。購入後の登記等を行う。																										
必要性	開始経緯	平成19年に志布志麓庭園が国指定となり、平成22年度に志布志麓庭園保存管理計画を策定した。公有化する ことで貴重な歴史遺産である志布志麓庭園の整備と活用を図る。整備活用により、歴史遺産の保存がはから れ、市民をはじめとした多くの人々に対して公開することで観光客の誘致等に効果がある。																	達成度 評価	・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢・環境の変化 ・事業期間	国指定名勝を構成する各庭園の公開活用を行い、観光客を 誘致する。各庭園を周遊するような活用をはかり、日本遺 産の構成要素である歴史遺産とも連携し、点ではなく面で の活用を行う。有料の体験活動や土産物販売等により経済 効果を得る。						
実施状況	・平成25年度福山氏庭園公有化、平成31年度(令和元年度)天水氏庭園公有化。 ・令和4年度に平山氏庭園の土地鑑定評価及び庭園鑑定評価を実施し、国補助を導入した平山氏庭園の公有 化を計画しているが、土地所有権の整理が未了のため未着手となっている。令和8年度に国補助を導入し公 有化を図る。																										
成果	・国指定名勝「志布志麓庭園」を構成する各庭園の公有化により、歴史遺産の整備と活用を進めることがで きる。 ・福山氏庭園の主屋及び庭園の保存修理を実施し、令和6年度に主屋の公開、体験事業等による活用を開 始。																	改革改善 案	拡充	○	現状維持		改善		効率化		廃止終了
課題	・平山氏庭園に現存する建物は老朽化し、風雨等により破損から令和6年度に倒壊した。安全及び景観のため、 早急に公有化を進め対処する必要がある。平山氏庭園は本来、寺院庭園であるため、整備にあたっては 寺院跡の調査等を実施し、寺院庭園としての整備を実施する必要がある。																										

作成日 令和 8 年 7 月 1 日作成

改革改善案

令和 8 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 8 年 7 月 1 日作成

事務事業名		文化財活用推進事業		事業番号	担当課	生涯学習課				(3)指標の推移		5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度												
				1194	担当G	文化財管理G				活動指標（実施状況）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)											
まちづくりプラン （基本目標）		振興計画	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと 伝統・文化のまち		予算科目	会計	款	項	目	備考	A	公開活用されている庭園 数（国指定・登録）	件	5	5	5	5	5	5									
(個別目標)		計画	3				1	10	4	6					イ	ウォーキングや出前講座 等の実施数	回	20	20	20	20	20	20						
(施策)		体系	2	伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活 用		主な費目	報償費、旅費、需用費、役務 費、委託料				成果指標（成果・効果）	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)										
(基本目標)		総合戦略	4				対象	文化財				ア	文化財等の見学者数(一 般観光客を除く)	人	500	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000									
(施策)		戦略	5	観光パワーアッププロジェクト		事業期間	平成18	年度～ 年度（ 年間）				イ	動画コンテンツの累計再 生数(志布志城+福山)	回	5,000	10,000	10,000	10,001	10,002	10,000									
(1) 総事業費の推移		単位		5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	(4) 評価		所管課による評価																	
年間 トータル コスト	事業費	国県支出金	千円							有効性 評価	・ 市民のニーズ ・ 事業の効果 ・ 政策との整合性 ・ 事業を廃止の影響 ・ 類似事業との連携 ・ 公平性	公共の財産である歴史遺産を周知公開することにより、文化財保護意識が高まり貴重な歴史遺産の保護につながる。指定の促進により貴重な歴史遺産を保護し、公開・活用が可能となる。																	
	事業内訳	その他特定財源	千円																										
		一般財源	千円	319	1,195	1,688	1,517	1,517	1,517																				
		事業費計 (A)	千円	319	1,195	1,688	1,517	1,517	1,517																				
	人件費	所要人員 (年間)	人	0.250	0.250	0.250	0.250	0.250	0.250																				
	人件費概算 (B)	千円	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400		効率性 評価	・ 事業効果向上 ・ 事業費削減 ・ 事務の効率化 ・ 費用対効果 ・ 財政負担の必要性 ・ 関係者との連携	個人が所有する庭園に対して公開謝金を支出しており、公有化することで費用の削減が可能となり、市独自での活用も可能となる。																	
	(A) + (B)	千円	1,719	2,595	3,088	2,917	2,917	2,917																					
(2) 事業概要																				達成度 評価	・ 数値目標 ・ 目指す状況 ・ 実現性 ・ 情勢、環境の変化 ・ 事業期間	志布志麓の国指定・登録名勝庭園の公開を継続し、観光客を誘致する。案内板等の設置により、指定文化財の周知活用を行う。							
事業目的	国指定及び国登録の志布志麓庭園の活用を推進することによって、歴史遺産を保護するとともに活用する。国県市指定文化財の活用、普及啓発を推進する。併せて国県市指定の促進を図る。指定文化財である民俗芸能等の活用と周知を図る。																												
事業内容	国県市指定文化財等の活用、普及啓発を推進する。史跡巡りウォーキング文化財巡りバスツアーの実施、文化財保護指導員・ジュニアガイドの組織・運営出前講座の対応・出前授業の実施、文化財説明板の作成設置、刊行物の印刷名勝庭園の公開、民俗芸能大会の実施																												
開始経緯	貴重な歴史遺産の公開・活用を実施することは、文化財を周知し保存することにつながる。文化財の公開・活用を推進し、保存を図る。歴史遺産を公開活用することは、観光客の誘致等に効果がある。																												
実施状況	・ 史跡巡りウォーキング文化財巡りバスツアーの実施、出前講座の対応 ・ 志布志麓ジュニアガイドによる福山氏庭園案内 ・ 文化財説明板の作成設置、文化財ガイドマップ等の刊行・配布 ・ 名勝庭園の公開、民俗芸能大会の実施																												
成果	・ バスツアー等の史跡めぐり、出前講座により文化財の周知を図っている。 ・ 文化財説明板の作成（老朽化に伴う更新含む） ・ 令和4年度に国指定史跡志布志城跡の活用として、コロナ交付金を活用しCG動画を作成して公開した。 ・ 福山氏庭園の一般公開後にPR動画2本を公開した。									改革改善案																			
課題	文化財の活用を推進するにあたっては、適切な維持管理が必要である。公開している庭園の所有者が変わったため、今後の公開活用等について所有者との協議が必要である。																												

令和 8 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 8 年 7 月 1 日作成

事務事業名		志布志城跡史跡公園保存整備事業		事業番号	450		担当課	生涯学習課		(3)指標の推移		5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
							担当G	文化財管理G		活動指標（実施状況）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
										活動指標（実施状況）		単位	(実績)	(実績)	(実績)		
まちづくりプラン（基本目標）		振興計画	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち		予算科目		会計	款	項	目	備考	1	10	4	6	
(個別目標)		計画体系	3	文化を守り・育み・つなげるまち		主な費目		委託料		ア 整備を行った場所		箇所	1	1	1	2	2
(施策)		体系	2	伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用		対象		国指定史跡 志布志城跡（内城、松尾城）		イ							
(基本目標)		総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる		対象		国指定史跡 志布志城跡（内城、松尾城）		成果指標（成果・効果）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
(施策)		戦略	5	観光パワーアッププロジェクト		事業期間		平成15	年度～	年度（	年間）	ア 志布志城跡見学者	人	3,000	3,000	3,500	3,500
												イ		3,900	4,200	4,700	
(1) 総事業費の推移		単位		5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	(4) 評価		所管課による評価					
				(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)								
年間トータルコスト	事業費	国県支出金	千円							有効性評価	・ 市民のニーズ ・ 事業の効果 ・ 政策との整合性 ・ 事業を廃止の影響 ・ 類似事業との連携 ・ 公平性	保存整備を目的に発掘調査を実施することは、志布志城跡の歴史的価値を解明することになる。そのことが、志布志城跡が地域の貴重な文化財であるということの普及・啓発につながり、さらには、志布志城跡が後世へ保存・継承されることにもなる。					
		財源内訳	千円														
		その他特定財源	千円														
		一般財源	千円	491	500	495	938	938	938								
		事業費計 (A)	千円	491	500	495	938	938	938								
		所要人員 (年間)	人	0.150	0.150	0.150	0.150	0.150	0.150								
		人件費概算 (B)	千円	840	840	840	840	840	840								
(A) + (B)	千円	1,331	1,340	1,335	1,778	1,778	1,778										
(2) 事業概要																	
事業目的	南九州を代表する中世山城である志布志城跡を史跡公園として活用を図る。									効率性評価	・ 事業効果向上 ・ 事業費削減 ・ 事務の効率化 ・ 費用対効果 ・ 財政負担の必要性 ・ 関係者との連携	現在は、必要最小限の維持管理費で事業を行っている。					
事業内容	国指定史跡である志布志城跡について、史跡公園として活用を図るための整備を行う事業であるが、一時整備を休止しており、整備を再開するまで維持管理を行う。																
開始経緯	志布志城跡の保存整備が歴史のまちづくり事業のリーディングプロジェクトとして位置づけられ、本調査の調査成果に基づく史跡公園としての保存整備を行うこととなったため。									達成度評価	・ 数値目標 ・ 目指す状況 ・ 実現性 ・ 情勢・環境の変化 ・ 事業期間	続日本100名城に選定されたことにより、日本全国から見学者が訪れるほど注目されており、早急な整備を求める声も聞かれるようになっている。					
実施状況	内城跡における雑木伐採等業務委託を実施した。																
成果	内城跡東側斜面の雑木伐採を実施した。									改革改善案	拡充 ○ 現状維持 改善 効率化 廃止終了						
課題	志布志城跡の活用のために史跡整備を実施する予定ではあるが、財政的な事由により維持管理のみ行っている。																

作成日 令和 8 年 7 月 1 日作成

事務事業名				埋蔵文化財発掘調査事業		事業番号	担当課	生涯学習課				(3)指標の推移		5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度						
				453			担当G	文化財管理G				活動指標（実施状況）		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)					
まちづくりプラン （基本目標）				振興計画	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと 伝統・文化のまち		予算科目	会計	款	項	目	備考	ア	整理作業員延べ人数	人	540 443	540 588	320 290	320	320	320			
（個別目標）								1	10	1	2		1				10	4	6						
（施策）				2	文化を守り・育み・つなげるまち		主な費目	報酬、職員手当、 使用料及び賃借料等				イ													
（基本目標）							総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる		対象		整理作業及び報告書作成が必要 な考古資料				成果指標（成果・効果）		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)
（施策）				5	観光パワーアッププロジェクト						事業期間	年度～ 年度（ 年間）				ア	新たに整理された考古資料数	箱	20 20	20 20	20 20	20	20	20	
							イ																		
(1) 総事業費の推移				単位	5年度 (実績・決算)	6年度 (実績・決算)		7年度 (実績・決算)	8年度 (計画・予算)	9年度 (計画・予算)	10年度 (計画・予算)	(4)評価		所管課による評価											
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国県支出金	千円							有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	発掘調査を実施した場合、出土遺物を整理して調査報告書を作成（記録保存）しなければならないが、これは文化財保護法に基づいて実施している。考古資料を整理、調査研究、保管していくことは、地域の貴重な文化財を保存・継承することに結びついている。												
			その他特定財源	千円																					
			一般財源	千円	4,358	6,105	3,081	4,301	3,583	3,583															
		事業費計（A）	千円	4,358	6,105	3,081	4,301	3,583	3,583																
	人件費	所要人員（年間）	人	1,550	2,050	1,025	1,350	1,075	1,075																
		人件費概算（B）	千円	8,680	11,480	5,740	7,560	6,021	6,022																
		（A）＋（B）	千円	13,038	17,585	8,821	11,861	9,604	9,605																
(2) 事業概要														効率性 評価	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携	開発事業に伴って発見された考古資料の整理作業や調査報告書作成、管理であるため、削減は困難である。正職員と会計年度任用職員の必要最小限の人数で対応している。									
事業目的	開発事業などに伴う発掘調査によって発見され、市埋蔵文化財センターに受け入れた埋蔵文化財を整理、調査研究、収蔵・管理して、市民に対してわかりやすいように活用する。																								
事業内容	開発事業に伴う分布調査、試掘調査、確認調査、本調査によって、市内で発見・出土した考古資料の整理作業や調査報告書作成を行い、その後適切な管理を行って活用できるようにする。埋蔵文化財包蔵地（遺跡）は現在、519遺跡（令和7年4月1日現在）。																								
必要性	開始経緯	埋蔵文化財の保管及び活用を適正に行うため、そして報告書が刊行されていない遺跡の整理作業や調査報告書作成を行うために開始された。												達成度 評価	・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間	太陽光発電施設建設などの開発事業に伴う試掘調査・確認調査を実施しており、それに伴い市埋蔵文化財センターで受け入れる考古資料がある。									
実施状況	昭和59年度に発掘調査を実施したものの大量の未報告の資料が残る中原遺跡の整理作業と平成6年度に発掘調査を実施したものの未報告である夏井土光C・D遺跡と深迫遺跡の整理作業を、7ヶ月間実施する予定。																								
成果	夏井土光C・D遺跡の深迫遺跡の整理作業では、遺構トレースや報告書掲載遺物の実測・拓本作業、一部原稿執筆を行った。												改革改善案		拡充	○	現状維持		改善		効率化		廃止終了		
課題	特に課題はない。																								

令和 8 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 8 年 7 月 1 日作成

事務事業名		市内遺跡確認調査事業（国庫補助）			事業番号	担当課	生涯学習課	(3)指標の推移			5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度												
					928	担当G	文化財管理G			活動指標（実施状況）	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)												
							会計 款 項 目 備考					(実績)	(実績)	(実績)														
まちづくりプラン（基本目標）		振興計画体系	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち			予算科目	1	10	1	2		ア	発掘調査作業員延べ人数	人	32	32	40	0	80	80							
(個別目標)			3	文化を守り・育み・つなげるまち				1	10	4	6		イ	整理作業員延べ人数	人	180	240	200	160	80	160							
(施策)			2	伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用			主な費目	報酬、消耗品費、印刷製本費等			176	120	180															
(基本目標)		総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる			対象	埋蔵文化財（遺跡）			成果指標（成果・効果）		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)									
(施策)			5	観光パワーアッププロジェクト				事業期間	令和5年度～令和10年度（6年間）			ア	調査成果が公表された遺跡数	件	0	9	0	1	0	1								
											イ																	
(1) 総事業費の推移		単位	5年度 (実績・決算)		6年度 (実績・決算)		7年度 (実績・決算)		8年度 (計画・予算)		9年度 (計画・予算)		10年度 (計画・予算)		(4) 評価		所管課による評価											
年間トータルコスト	事業費 人件費	財源内訳	国庫支出金	千円	1,002	1,000	1,000	1,073	1,000	2,000	有効性評価	・ 市民のニーズ ・ 事業の効果 ・ 政策との整合性 ・ 事業を廃止の影響 ・ 類似事業との連携 ・ 公平性		開発行為等によって破壊される埋蔵文化財（遺跡）の発掘調査を行い記録保存することは、文化財保護法に基づいて実施している。埋蔵文化財の記録保存を行い、調査成果を公表することで、埋もれていた地域の歴史を市民に知ってもらうことにつながる。														
		財源内訳	その他特定財源	千円																								
		財源内訳	一般財源	千円	1,028	1,111	1,459	1,879	1,000	2,000																		
		事業費計（A）	千円	2,030	2,111	2,459	2,952	2,000	4,000																			
		所要人員（年間）	人	1,000	1,150	1,500	0,300	1,200	1,200																			
		人件費概算（B）	千円	5,600	6,440	8,400	1,680	6,721	6,722																			
(A) + (B)		千円	7,630	8,551	10,859	4,632	8,721	10,722																				
(2) 事業概要																												
事業目的	ほ場整備に伴い、平成26・28年度・令和元年度に国庫補助による確認調査を実施した前畑遺跡ほか8遺跡の調査報告書を刊行して、調査成果を公表する。国指定名勝志布志麓庭園の整備事業に伴い、福山氏庭園（福山氏邸）と平山氏庭園（石峯寺跡）の確認調査を行い、整備事業に役立てるとともに、調査報告書を刊行して調査成果を公表する。																効率性評価	国庫補助事業を活用して、市の財政負担を軽減している。										
事業内容	確認調査を実施した前畑遺跡ほか8遺跡から見つかった遺物等の整理作業を実施して、調査報告書を刊行する。福山氏邸と石峯寺跡の確認調査を実施し、整理作業を行って、調査報告書を刊行する。																											
開始経緯	ほ場整備事業に伴い前畑遺跡ほか8遺跡について、遺跡の有無や範囲・性格等の把握を行い関係機関との協議・調整のための情報を得るための確認調査を実施した。国指定名勝志布志麓庭園の整備事業に伴い、福山氏邸は増改築の有無等を、平山氏庭園（石峯寺跡）は寺院関係の遺構・遺物の有無等を確認する目的で確認調査を行うことになった。																達成度評価	・ 数値目標 ・ 目指す状況 ・ 実現性 ・ 情勢、環境の変化 ・ 事業期間		前畑遺跡ほか8遺跡の調査報告書は令和6年度末に、福山氏邸の調査報告書は令和8年度末に、石峯寺跡の調査報告書は令和10年度末に刊行する。								
実施状況	福山氏邸の整理作業・報告書作成を6～2月に実施した。福山氏邸と石峯寺跡の確認調査は、1月後半から2月前半に実施した。																											
成果	福山氏邸の整理作業では、出土遺物の洗浄、分類、実測図作成、拓本作業を行った。石峯寺跡の調査では、岩盤を穿った小さな穴が見つかった。																改革改善案			拡充	○	現状維持		改善		効率化		廃止終了
課題	令和10年度に石峯寺跡（平山氏庭園）の調査報告書を刊行して事業が終了する予定である。しかし、平山氏庭園の公有化の進捗状況によっては、事業計画に変更が有り得る。																											

作成日 令和 8 年 7 月 1 日作成

改革 改善 改善 案	
---------------------	--